



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 2 (仮称) 渋民トンネルの工事が進んでいます！
- 4 (仮称) 下川井トンネルの工事が進んでいます！
- 6 冬期間の安全で快適な道路交通確保の取組
～堆雪帯整備事業～
- 8 みんなで防ごう土砂災害！
～6月は土砂災害防止月間です～
- 10 早池峰ダムは二十歳 ワイン貯蔵実験！！
- 11 週休二日制普及促進キャンペーン

2020年
5月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第190号
令和2年5月29日発行
編集 県土整備企画室

三陸復興

復興支援道路のトンネル工事が 進捗しています！

県が「復興支援道路」として整備を進めている一般国道343号(仮称)渋民トンネル、一般国道281号(仮称)下川井トンネルの工事が順調に進み、令和2年4月にトンネルが貫通しました。引き続き、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築に向け、着実に工事を進めています。



(仮称) 渋民トンネル貫通(一関市)



(仮称) 下川井トンネル貫通(久慈市)



(仮称) 渋民トンネル貫通後



(仮称) 下川井トンネル貫通後

【復興支援道路 一般国道 343号 渋民工区】

（仮称）渋民トンネルの工事が進んでいます！

県南広域振興局土木部一関土木センター

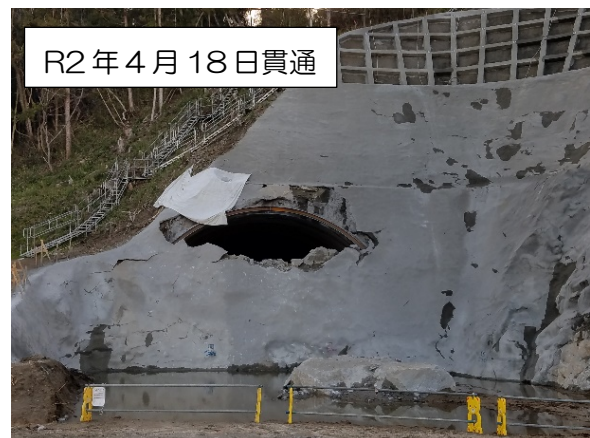
県が「復興支援道路」として一関市大東町で整備を進めている一般国道 343 号渋民工区 (L=5.5km) において、本県施工の復興事業における最後のトンネル工事となる（仮称）渋民トンネル (L=311m) が、令和 2 年 4 月 18 日（土）に貫通し、引き続き工事を進めています。

（仮称）渋民トンネルは、令和元年 12 月 17 日（火）に安全祈願祭が開催され、トンネル掘削に着手し、西側坑口から東側へ工事を進めてきました。今年に入り、工事が順調に進んだことから、令和 2 年 4 月 18 日（土）にトンネルが貫通し、事業推進に弾みがつくものと期待されます。

今後は、インバート工やコンクリート舗装工事を施工し、前後の改良工事と合わせ、令和 2 年度内の供用開始を目指し、事業を進めていきます。



○施工状況 ※トンネル東側坑口





削孔状況

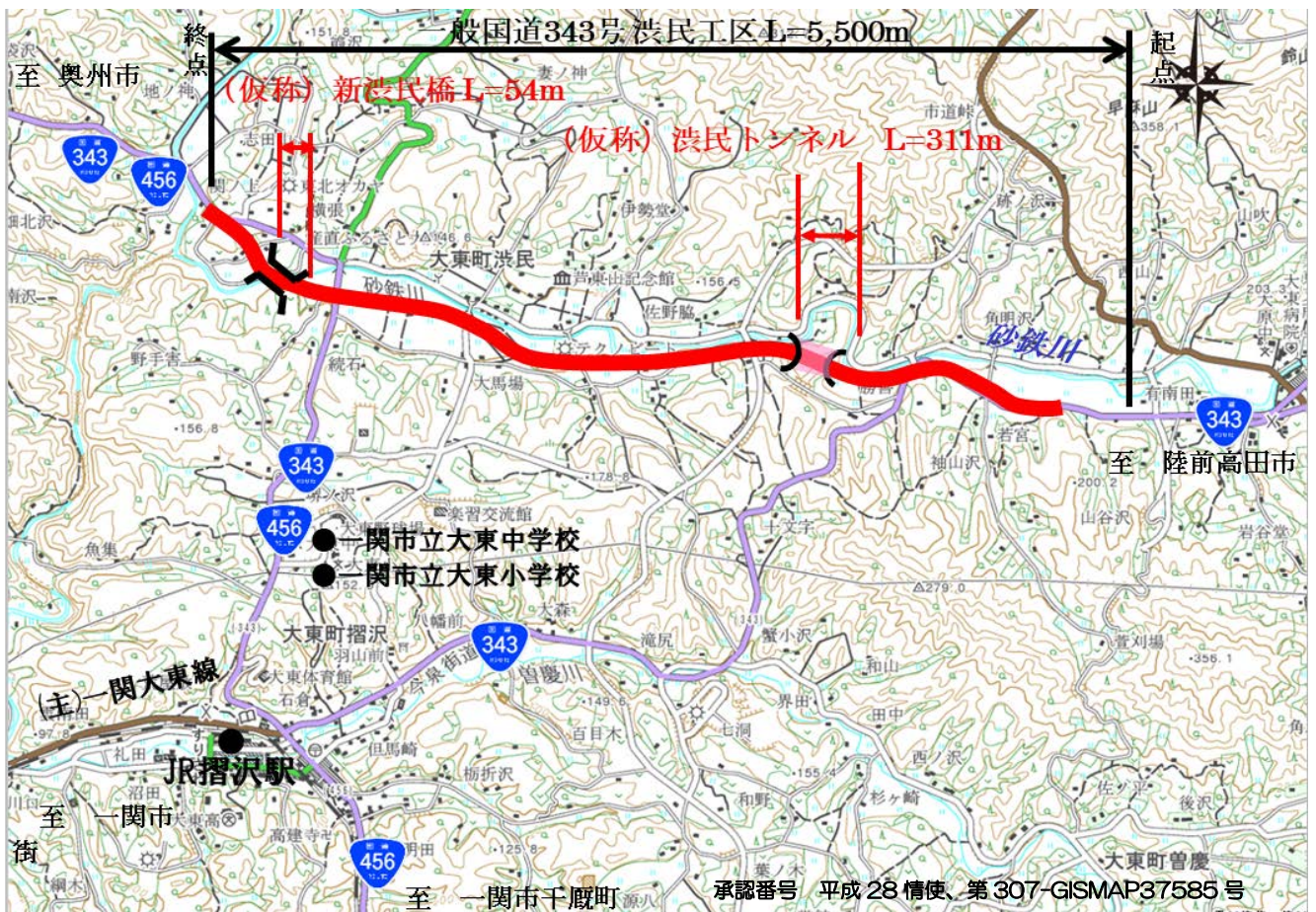


貫通の瞬間！

【事業概要】

一般国道343号は、陸前高田市を起点とし、一関市を経由し、奥州市へとつながる県南地域と三陸沿岸地域を結ぶ重要な幹線道路です。

本路線は、災害時の緊急輸送道路にも指定されており、平成23年3月11日の東日本大震災津波の際も、被災者の救出、救援物資の輸送等に大きな役割を果たしました。これを受け、県では「東日本大震災津波復興計画」において一般国道343号を「復興支援道路」に位置付け、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築に向け、着実に整備を進めています。



【復興支援道路 一般国道 281号 下川井工区】

(仮称) 下川井トンネルの工事が進んでいます！

県北広域振興局土木部

県が「復興支援道路」として久慈市山形町で整備を進めている一般国道 281 号下川井工区 (L=1.51km) において、(仮称) 下川井トンネル (L=510m) が令和 2 年 4 月 3 日 (金) に貫通し、引き続き工事を進めています。

(仮称) 下川井トンネルは、令和元年 7 月 10 日に久慈側坑口より掘削を開始し、令和 2 年 4 月 3 日に山形側坑口へ貫通しました。
(掘削期間 9 ヶ月)

トンネル工事は、崩落や激しい湧水もなく順調に掘削が進み、現在、覆工コンクリート及び坑門工の施工を進めており、令和 2 年 10 月末に完成する予定です。

また、現在、トンネル工事と道路改良工事を進めています。



○施工状況



久慈側坑口での安全祈願祭(R1.7.10 実施)



久慈側坑口の掘削状況(R1.7.19)

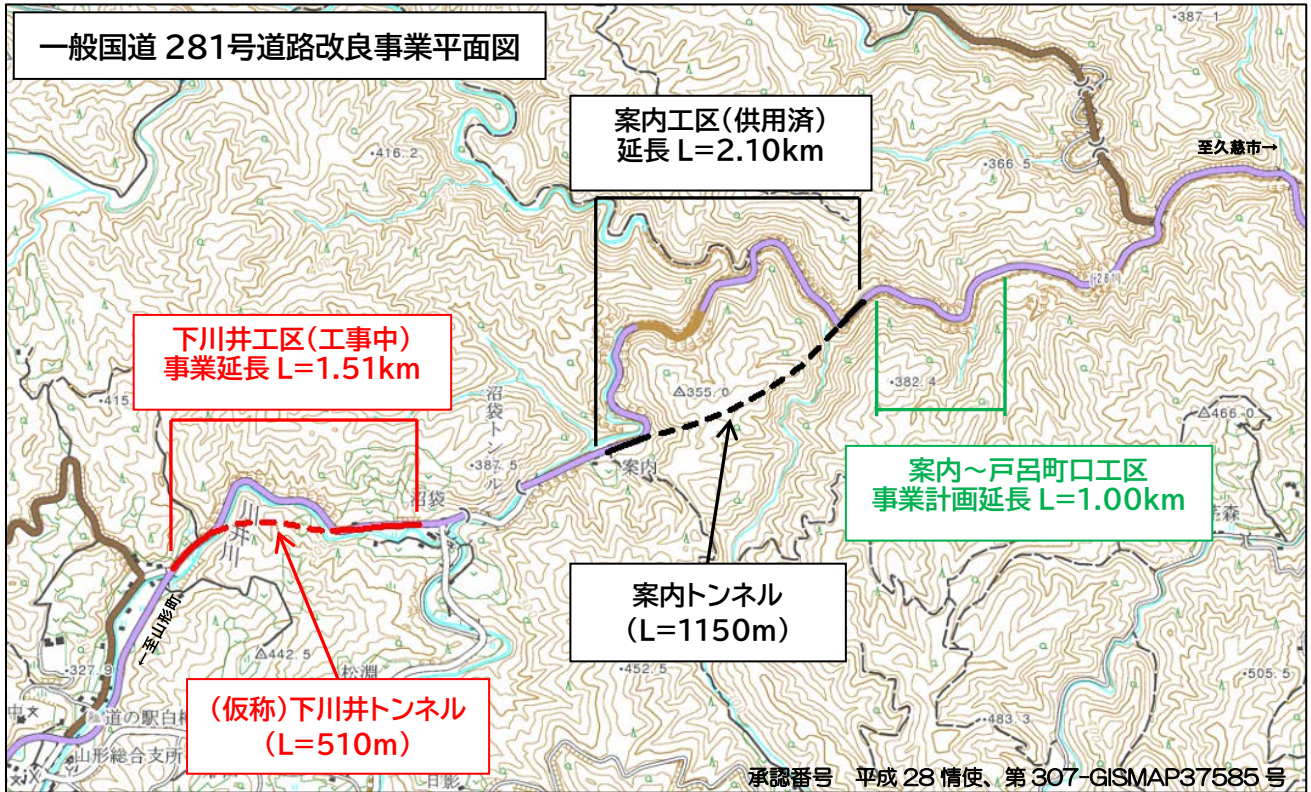


貫通直後の状況(R2.4.3)



山形側坑口(R2.4.29)

【事業概要】



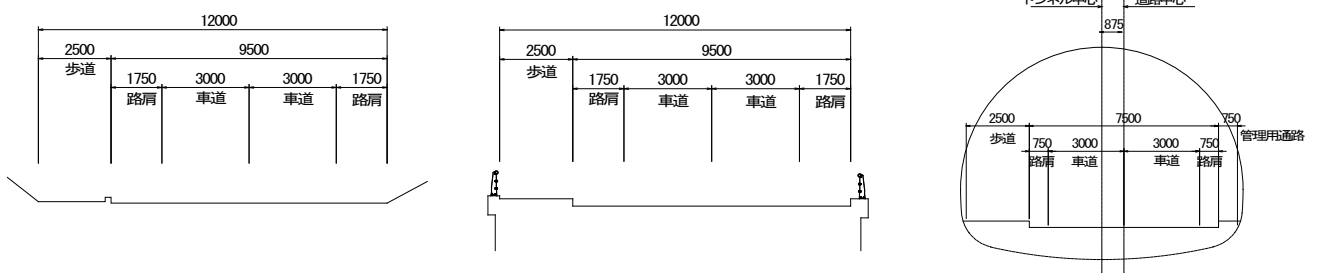
【県北広域振興局土木部のキャッチフレーズ】

～県北地域の一人ひとりが願う夢や幸せのカタチを実現するための、
復旧・復興の推進と安心安全なまちづくり～

下川井工区における道路改良の効果

- 現道の急カーブ、防災点検要対策箇所(落石危険箇所)、冬期間のすれ違い困難を回避し、通行車両の安全性が向上します。
- 現道の幅員狭小、線形不良区間を回避し、救急医療施設へのアクセスが向上します。
また、内陸部と沿岸地域との物流の効率化と、観光周遊に寄与します。
- 歩道を設置することにより、山形町中心部までの歩行者の安全性が向上します。

改良後の道路断面



冬期間の安全で快適な道路交通確保の取組

たいせつたい ～堆雪帯整備事業～

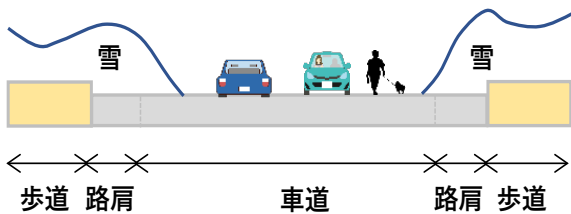
道路環境課

堆雪帯とは？

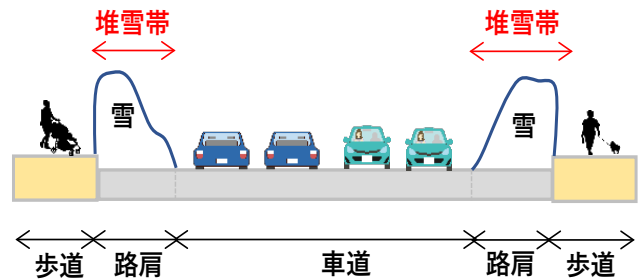
岩手県では県管理道路の雪を道路脇の路肩や歩道に寄せる除雪を行っています。路肩に雪があると、車道の幅が狭くなり、車両のすれ違いが困難になることや、降雪量によっては、歩道部分まで雪に覆われてしまい、歩行者が車道を歩行せざるを得ない状況となるなど、安全な通行が困難になる場合があります。

そこで、このような区間には、除雪時に一時的に雪をためておくスペース「堆雪帯（たいせつたい）」を整備し、冬期間でも安全で快適に道路を通行できるようにしています。

堆雪帯がない場合



堆雪帯を整備した場合



令和2年度の事業箇所

	路線名	市町村	箇所	全体延長	事業完了予定	令和2年度の工事内容
1	主要地方道 盛岡横手線	西和賀町	大野	1,570m	令和2年度	道路改良130m
2	主要地方道 盛岡横手線	西和賀町	若畑	1,500m	令和2年度	道路改良650m
3	一般国道 396号	遠野市	達曾部	1,200m	令和2年度	道路改良200m
4	一般国道 395号	二戸市	仁左平	1,200m	令和2年度	舗装1,200m
5	一般県道 花巻和賀線	北上市	後藤～藤根	3,000m	令和7年度	測量設計 1式

【問合わせ先】

岩手県県土整備部道路環境課 維持グループ

電話： 019-629-5880 FAX： 019-629-9124

E-mail： AG0004@pref.iwate.jp

整備状況（左：整備前 右：整備後）

車両のすれ違い

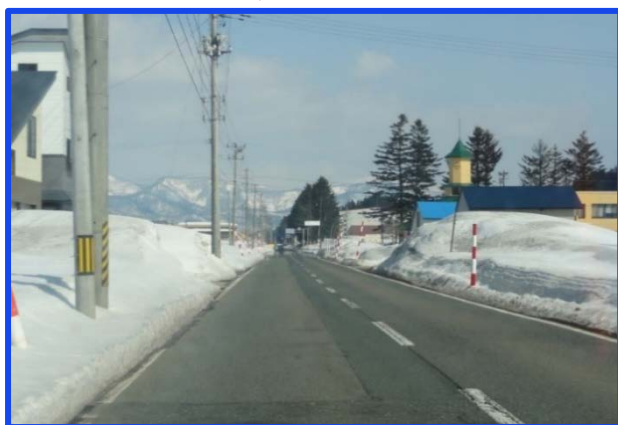


車両通行の確保



主要地方道盛岡横手線 若畑地区

歩行者の安全性に課題



車両通行の確保



主要地方道盛岡横手線 大野地区

路肩に雪が溜まると車両通行に課題



登坂車線を堆雪帯として利用し車両通行の確保



一般国道 396号 達曽部地区

岩手県では、今後も冬期間の安全で快適な交通を確保するため、堆雪帯整備を推進するとともに、適切な除雪を実施することにより、道路環境の改善に取り組んでいきます。

みんなで防ごう土砂災害！

～6月は「土砂災害防止月間」です～

【2020年土砂災害・全国防災訓練キャッチフレーズ】

「避難の声かけ、安全の確認」



砂防災害課

近年、**台風、梅雨前線豪雨、地震**などによる**土砂災害**が全国各地で多発しています。

地球温暖化に伴う気候変動の影響による大雨によって、**土砂災害の激甚化、頻発化、同時多発化が懸念**されています。

岩手県においては、令和元年10月の台風第19号に伴う豪雨により、沿岸部を中心に県内9市町村98箇所**で土砂災害が発生し、甚大な被害が発生しました。**全国においても関東、甲信地方などで記録的な大雨となり、多くの土砂災害が発生し、人的被害が発生したことは記憶に新しいところです。

国土交通省と全国の都道府県では、防災・減災の取組の一環として、梅雨や台風の時期を迎えるにあたり、昭和58年から**6月を『土砂災害防止月間』**と定め、土砂災害防止に向け、様々な取組を実施しています。

県では、国・市町村・砂防ボランティア岩手県協会などの関係機関と連携して、土砂災害危険箇所の点検や出前講座等を実施します。

土砂災害危険箇所の点検

※写真は昨年度のものです



(岩泉土木センター管内)



(千厩土木センター管内)

出前講座の様子

※写真は昨年度のものです



(岩泉小学校6年生の現場見学の様子)



(小川中学校1年生への模型実験の様子)

また、岩手県庁1階県民室では、NPO法人防災ネットいわてとの協働による『土砂災害写真パネル展』（令和2年6月1日から12日まで）を開催します。

土砂災害写真パネル展

※写真は昨年度のものです

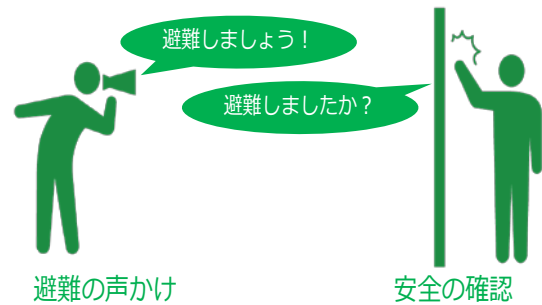


『土砂災害写真パネル展』では、**県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取組**等を紹介するパネルや、**土砂災害の映像上映**、昨年度の土砂災害防止月間の行事の一環として**小中学生から募集した「土砂災害防止に関する絵画・作文」**の優秀作品を展示する予定です。ぜひご覧ください。



2020年「土砂災害・全国防災訓練」の実施

【2020年キャッチフレーズ】
「避難の声かけ、安全の確認」



令和元年度 国土交通省審査 - 小学生の部 -
土砂災害防止に関する絵画 優秀賞（事務次官賞）受賞
「注意だ！！土砂災害」

岩手県 北上市立黒沢尻北小学校 5年（当時）

おおつき くおん
大槻 久遠 さん

これから、大雨の季節を迎えますが、**土砂災害から身を守る**ため、あらかじめ自宅周辺における**土砂災害の危険性**や**避難経路**及び**避難情報の入手方法**などを確認し、いざというときに備えましょう。
また、避難にあたっては、**周りの人に声をかけあって避難**するようにしましょう。

土砂災害対策に関するお問い合わせ

場 所： 県庁7階 砂防災害課（砂防担当）
電 話： 019-629-5922・5923 F A X： 019-629-9140
E-mail: AG0006@pref.iwate.jp

早池峰ダムは二十歳 ワイン貯蔵実験開始！！

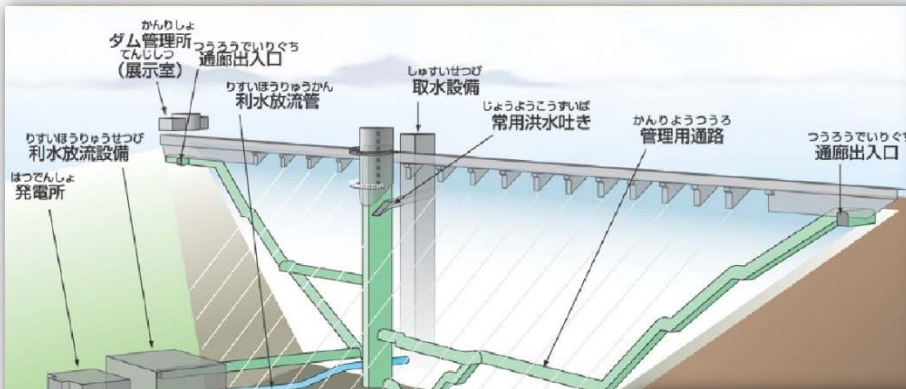
県南広域振興局土木部花巻土木センター

早池峰ダム（花巻市大迫町）は、岩手県が一級河川北上川水系稗貫川に建設した多目的ダムであり、**県が建設、管理するダムで唯一「地域に開かれたダム※」**の指定を受けたダムです。（県内では、国土交通省所管の湯田ダムも指定を受けています。）

早池峰ダムは令和2年10月に竣工20周年を迎えることから、県ではダムを活用した地元へ貢献できる取組を花巻市と共に検討し、大迫とワインのつながりが強いことから、**ワイン用葡萄の生産者組織である大迫醸造用葡萄研究会と協議して、ダムを点検するための通路内に瓶ワインを貯蔵する取組**を試験的に実施することにしました。

ダム堤体内は、洞窟や鉱山坑道と同様に一年を通して気温が一定（10℃前後）であることから、**美味しいワインの熟成が期待**されます。研究会ではワインを一定期間貯蔵した後、試飲会・販売等を通して効果の確認・検証を行う予定です。

※地域に開かれたダムとは地域の創意工夫を活かし、ダムを地域に一層開放し、ダムが地元にとってより密着した施設となるよう、ダムの利活用を推進しようとする制度です。



ダム内には点検のための通路やエレベーターが設置されています。ワインは点検等に支障のない位置に貯蔵します。

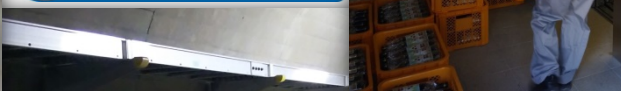
大迫醸造用葡萄研究会の生産者のワイン998本が運びこまれました。



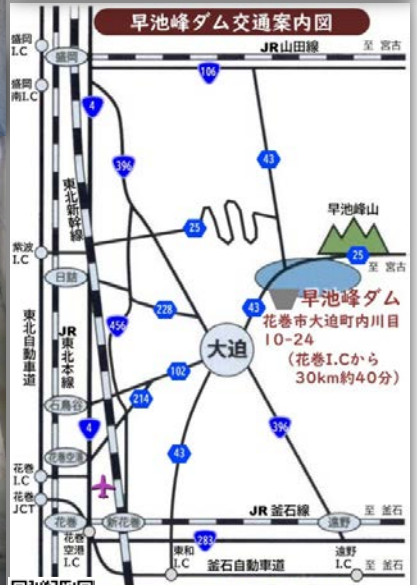
実験開始日、多くの報道の方に取材頂きました。



ダム内は、1年を通して気温約10℃、湿度60～70%で一定です。



美味しいワインになることを期待しています。



早池峰ダムでは、竣工20周年の取組を多数ご用意しております。詳しくは→

Facebookページ「早池峰ダム（はやちねだむ）」情報発信中！いいね！して最新情報を入手して下さい。

週休二日制普及促進キャンペーン

～4月から9月の第2土曜日を一齐休日～

建設技術振興課

建設業における働き方改革を進めるため、岩手県内の行政機関と建設業界団体が協働し、県内の公共工事の現場において、4月から9月の第2土曜日を一齐に休日とする「週休二日制普及促進キャンペーン」を実施しています。

県では、建設業界団体が取組むキャンペーンの趣旨に賛同し、可能な限りこの取組に協力することとしており、建設現場における週休2日の普及に努めています。

【キャンペーンに取り組む背景】

労働基準法の改正により、建設業については令和6年度から、時間外労働時間について罰則付きの上限規制が導入されるため、建設現場の労働時間の短縮が課題となっています。

国土交通省では、建設業の週休2日の確保などの働き方改革を加速化させるため、「建設業働き方改革加速化プログラム」を策定しており、本県でも週休2日モデル工事の試行等により、県内建設業の働き方改革を促進しています。

↓下記アドレスの岩手県公式ホームページにて、工事試行要領を公表しております。

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/1020285/1020291.html>

【キャンペーンの取り組み内容】

下記の6日間を「週休二日制普及促進DAY」と定め、県内の公共工事の現場を一齐に休む取組を行い、建設業の週休2日制を推進し、働きやすい職場環境づくりを進めるものです。

- 実施日：・4月11日（土）
 ・5月9日（土）
 ・6月13日（土）
 ・7月11日（土）
 ・8月8日（土）
 ・9月12日（土）

※ 災害等の緊急工事や工程上やむを得ない工事はキャンペーンの対象外としております。

